

生成AI時代の 情報活用能力と学びの デザインウェビナー



教育委員会×学校×ICT支援員で創る「自治体教育プラン」

6/3
wed.
15:00~16:30

参加無料・オンライン開催

途中参加・退室OK

ICT活用は広がりつつある一方で、「現場に定着しない」「校務改善につながらない」「支援員の活用が進まない」など、自治体ごとの課題も顕在化しています。本セミナーでは、こうした悩みを踏まえ、目指したい学校の環境整備と、それをICT支援員が支えた例をご紹介します。ICTを手段として活用し、教員の負担軽減と学びの質向上を両立するための具体的なアプローチを考えます。

1 ICTが生きる学校は何が違う？ —研究からひもとく活用の条件とAI時代の学び—

基調講演 15:05~ 東京大学大学院 情報学環 教授 **山内 祐平** 先生

教育工学・学習環境デザインを専門に、GIGAスクール構想以降のICT活用やAI時代の学びを研究されている山内祐平先生をお招きし、先生らの研究をもとに「ICT活用が進む学校・教員の特徴」をご紹介します。後半では、生成AIを活用したこれからの学びや、AI時代に必要な教育観について最新の知見を交えてご講演いただきます。



2 AI活用を学校にどう根づかせるか 支援員研修から始まる実装モデル

活用事例 15:35~ 兵庫県高砂市 教育委員会

3 ICT支援員と実現を目指した “最初の一步”を支える環境づくり

活用事例 15:50~ 神奈川県綾瀬市 教育委員会

4 「デジタル科」の実践に向けた 学校とICT支援員による二人三脚の取組

活用事例 16:05~ 石川県 金沢市立扇台小学校

※タイムスケジュールは前後することがあります。

お申し込みは
QRコードから!



先着順
となります

生成AI
時代の

情報活用能力と学びの デザインウェビナー

教育委員会×学校×ICT支援員で創る「自治体教育プラン」

お申し込みは
こちらから



6/3
wed.
15:00~16:30



当日時間の都合が合わない場合、お申し込みいただいた方限定で後日アーカイブを配信します。

お申し込みがない場合、アーカイブのご視聴もできないため、オンタイムでの参加が難しくてもお申し込みをお願いいたします！

登壇の先生方

東京大学大学院 情報学環 教授



山内 祐平先生

東京都出身。東京大学大学院情報学環教授。専門は学習科学、学習環境デザイン、教育におけるICT活用。これからの時代に求められる資質・能力や、学びのあり方について研究を行うとともに、学校現場や自治体、企業と連携しながら、学習環境の設計や教育の高度化に取り組んでいる。文部科学省をはじめとした各種委員会・プロジェクトにも参画し、教育政策やICT活用の推進にも関与。全国の教育委員会・学校を対象とした講演・研修も多数実施している。

主な著書

- 『学びの環境デザイン』(東京大学出版会)
- 『デジタル時代の学びと教育』(共著)
- 『学習科学ハンドブック』(共著)
- 『教育のためのデータサイエンス入門』(共著) など多数!

兵庫県高砂市 教育委員会

学校でのAI活用を見据え、まず教育委員会と連携した支援員向け研修を実施し活用の考え方や指導の在り方を共有。その後、支援員と連携して各校へ展開することで、学校への着実な浸透を図っています。子どもたちの主体的・協働的な学びを支える体制づくりと、AI活用を見据えた学校全体での実装プロセスを紹介いただきます。

神奈川県綾瀬市 教育委員会

綾瀬市では、ICT活用の立ち上げ期における「最初の一步」の壁を乗り越えるため、オンラインサポートを活用した支援体制を整備。導入から2か月で活用率約70%を実現しました。即時性×伴走支援により、先生方の活用を後押しし、さらに探求やAIなど取り組みを広げている事例を発信いたします。

石川県 金沢市立扇台小学校

令和7年度より「新金沢型学校教育モデル」として、小1～中3で学ぶ「デジタル科」を新設。プログラミングやデータ活用を通して主体的に考える力を育成しています。令和7・8年度 金沢市教育委員会指定 新金沢型学校教育モデル実践推進事業 デジタル科実践推進校。ICT支援員と一丸となって推進した実践と成果を紹介いただきます。